

満足のいく大学生活にできるかどうかは自分次第

待ちに待った大学生活がスタートする目前、新型コロナウイルス感染症が流行し、思い通りの大学生活が送れていなかった中で、ようやく大学生活がスタートしたと思えるようになったのはゼミに入ってからでした。少人数制ということもあり、今では大学の中のファミリー的な存在といえるゼミ生。もちろん最初から仲が良かったわけではありませんが、色々な課題やディスカッション、1回1回のゼミを通して、今では素を出せるほどにまで仲良くなり、大切な存在になりました。

私が首藤ゼミで得られたものは仲間の存在以外にも沢山あります。その中でも最も重要だと考えているのは、『挑戦することの大切さ』です。大学生の間に挑戦したいと思っていた富士山登山や、数多くの資格の取得、これらは首藤ゼミ内の1人ひとりがお互いに刺激し合える存在であり、挑戦しやすい環境であったからこそ、自分自身にプレッシャーをかけながら、仲間とともに切磋琢磨しあいながら挑戦し、達成できたと思っています。

私が、特に力を入れたことは『有言実行』です。目標ややりたいことを人に宣言するのは誰にでもできることです。しかし、それだけでは何の成果も結果も得られません。自分自身に鞭を打つために、少し高めな目標を立て、達成させるために努力を続けました。私は、『努力は必ず報われる』という言葉信じています。もしまだ報われていないのであれば、それはその人自身の努力が足りなかったからだと思っています。私自身結果を出すために、胸を張って頑張ったと公言できるくらいの努力を続けてきました。短い大学生活をより濃いものにするため、そして悔いを残さないようにするために、1日1日を大切にしてきました。そのおかげで私の大学生活はとても充実したものになりました。

4年間をかけがえのない大切な時間にできるかどうかは、自分自身の行動次第です。何事にも挑戦しやすい大学生の間に、自分自身が挑戦したいことにまずは挑戦してみてもいいのではないでしょうか。『やらずに後悔よりやって後悔』の方が間違いなく得られることが多いと思います。失敗を恐れずに、まずは行動してみましょう。そこから得られるものが今後の人生に大きな影響を与えてくれると思います。『考えるな、感じろ』という言葉があるように、自分の心に従って沢山のことに挑戦してみてください。絶対に充実した大学生活が送れるはずですよ。私は、首藤ゼミで学ぶことができたこの2年間に感謝しています。ゼミで得られたことを今後の社会人生活にも活かしていきたいと思っています。皆さんの大学生活が充実したものになるように願っています。

2024年3月15日

首藤ゼミ初代 Hard Worker

尾崎 美優